

## あとがき

4月になりました。昨今は盆暮を含めて年中休みなく学会・研究会が開催されていますので、「学会シーズン」という言葉も死語になりつつある感がありますが、新年度の主要学会に向けて準備万端整えておられる先生方も多数おられることと思います。COVID-19 パンデミックは学会の態様を大きく変えてしまいました。人が「集まる」ことが否定的に捉えられて、すべての学術集会在中止ないオンラインでの開催に移行し、この時期に医師人生をスタートした若い先生方の中には、学会はwebがスタンダード、と信じておられる方が多数おられるようです。煩わしい他人との交流を避けることができ、自分を前に出すことなく“効率よく”勉強できるWeb学会は、若い世代のニーズに合っているのかもしれないですね。

しかし、この数年間、Web開催を余儀なくされた学会・研究会も、かなりの部分は対面での従来の形に復帰しました。ハイブリッド配信もやめて現地のみという会も増えていきます。Web開催には、何かにつけて内向きな若手の嗜好に合うという以外にも大きなメリットはあり、子育てや介護、超多忙な日常業務ゆえに学会場に足を運ぶことのできない先生方のために大きな貢献をしているのは紛れもない事実です。日本神経学会のような大きな学会は、こういった会員のための学習・研修機会の確保という考えのもと、本幹はリアルで開催に置くとしてもハイブリッドの形は今後もずっと続けるであろうと思います。

ですが、私はやはり学会のあるべき姿は現

地開催だと信じています。自分の仕事を同業者の目の前で開陳して対面で忌憚のない批判を受ける、教科書や論文で名前しか知らない高名な先生と知り合いになる、自分の仕事に注目してくれた面識のない人から声をかけられる、こういったチャンスをきっかけにして若い先生方の世界は大きく広がります。この交流の舞台を提供することこそ学会の最大の役割であって、ただ勉強するだけなら教科書やネットのオンデマンド講演で事足りますね。私は5月に下関で第65回日本神経病理学会総会学術研究会を主催します。ハイブリッドもやめて現地でのみの開催です。神経病理は標本を対面で見ながら討論することにこそ意味がある、インターネットは神経病理にはそぐわないという私の信念からですが、5月16-18日にはぜひ下関に足をお運びいただいて、熱いディスカッションに参加していただきたいと願っています。

本号は神経病理の特集です。脳神経内科、精神科の領域では、研究分野がニューロサイエンスの多岐に拡がっており、かつて王道を占めていた神経病理学の地位は相対的に低くなっていると私は感じています。加えて、COVID-19 パンデミックのあおりで国内各施設の脳剖検数は激減しました。このような状況の中、神経病理学の現在地はどこにあるのか、神経病理学の価値は今なお不変であるのか、という命題を読者と共有したくこの特集を組みました。学会参加と合わせてぜひ熟読していただきたいと願っています。

(神田 隆)

|       |       |
|-------|-------|
| 編集顧問  |       |
| 石塚 典生 | 糸山 泰人 |
| 内山真一郎 | 大友 英一 |
| 梶 龍児  | 河村 満  |
| 桑原 聡  | 高坂 新一 |
| 作田 学  | 辻 省次  |
| 寺本 明  | 中里 洋一 |
| 中込 忠好 | 彦坂 興秀 |
| 平山 恵造 | 藤澤浩四郎 |
| 水澤 英洋 | 水野 美邦 |
| 森 啓   | 柳澤 信夫 |

|             |       |
|-------------|-------|
| 編集委員        |       |
| 神田 隆 (編集主幹) |       |
| 酒井 邦嘉       | 下畑 享良 |
| 高尾 昌樹       | 三村 将  |
| 虫明 元        |       |

|        |       |
|--------|-------|
| 編集同人   |       |
| 入来 篤史  | 岩田 淳  |
| 宇川 義一  | 内原 俊記 |
| 大隅 典子  | 岡部 繁男 |
| 木村 和美  | 久保 義弘 |
| 栗栖 薫   | 小林 靖  |
| 斉藤 延人  | 砂田 芳秀 |
| 高橋 良輔  | 瀧山 嘉久 |
| 武田 伸一  | 平田 幸一 |
| 寶金 清博  | 星 英司  |
| 星野 幹雄  | 本田 学  |
| 松野 彰   |       |
| (五十音順) |       |

本誌はMEDLINEに  
収載されており、掲載論文は  
PubMedで検索可能です。

BRAIN and NERVE 第76巻第4号  
2024年4月1日発行 (毎月1回1日発行)  
定価 3,080円 (本体 2,800円 + 税 10%, 送料実費)  
2024年年間購読料 (12冊, 税込, 送料弊社負担)  
冊子版 38,808円  
電子版/個人 37,488円  
冊子 + 電子版/個人 42,988円

ご購入に関するお問い合わせ先 (販売・PR部直通)  
TEL 03-3817-5650 FAX 03-3815-7804

印刷所  
(株) アイワード

広告申込  
(株) ハイブリッジエージェンシー TEL 03-3814-0089

◆本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。

◆本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者などの第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, その都度事前に出版者著作権管理機構 (TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

◆「BRAIN and NERVE」は株式会社医学書院の登録商標です。

発行 株式会社医学書院  
代表者 金原 俊

〒113-8719  
東京都文京区本郷 1-28-23  
編集室直通  
TEL 03-3817-5701  
FAX 03-3815-7802  
E-mail bn@igaku-shoin.co.jp  
https://www.igaku-shoin.co.jp/journal/416  
担当: 有賀・前野

Published by IGAKU-SHOIN  
Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku,  
Tokyo ©2024, Printed in Japan